

池上本門寺を歩く

(東京都大田区)

日蓮聖人入滅の地に建立された「法華經」布教の殿堂

日蓮宗の開祖・日蓮聖人がその波瀬萬丈の生涯を閉じられた靈跡に創建された池上本門寺。その広大な境内には日蓮聖人御廟所をはじめ、桃山期に建立された関東最古の五重塔や寺宝を納めた靈寶殿など、見所がいっぱいです。



ご案内いただいた
池上本門寺執事
梅本明宏さん

仁王門(三門)／池上本門寺でもっとも重要な区域に入るための門。お会式の万燈がくぐれるよう初層の天井が高く造られている。



日蓮宗大本山 池上本門寺

住所 東京都大田区池上1-1-1

電話 03-3752-2331

交通 東急池上線「池上駅」から徒歩10分、都営浅草線「西馬込駅」南口から徒歩12分、JR京浜東北線「大森駅」から池上駅行きバス(20分)「本門寺前」下車徒歩5分

※境内はつづで料金で停車料金です。

※宝殿の待合時間・料金は4ページをご覧ください。

御入滅の靈場に安置される 生身・孝道示現の御尊像

身延山の草庵に葬られた日蓮聖人は、弟子・信者の育成や著述に専念されていましたが、弘安5年(1282)ともなると、その体調は衰弱し身延山の冬に耐えられないほどに悪化しました。常陸の温泉で療養することを決められた聖人が、山を下りられたのは9月8日のこと。そして、武藏国池上の郷主・池上宗仲の館に到着したのは、9月18日のことだといいます。

聖人はここで療養を続けられましたが、10月13日の辰の刻(午前8時頃)に入滅されたのです。

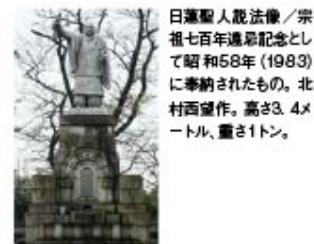
熱心な法華信者で大權^{（けん）}（経済的な



日蓮聖人御廟所／中央の八角堂の中に日蓮聖人の墓塔が安置されている。池上本門寺の最聖所。昭和54年(1979)の建立。



多宝塔／日蓮聖人の御遺体を荼毘に付した靈地に建つ。文政11年(1828)建立。この形式の塔としては最大のもの。木造。墨文。



日蓮聖人般若像／宗祇七百年還易記念として昭和58年(1983)に奉納されたもの。北村西望作。高さ3.4メートル、重さ1トン。



五重塔／徳川秀忠公の寄進により慶長13年(1608)建立。関東では最古の五重塔。初層が和様、二層以上は唐様で造られている。高さ31メートル。墨文。

「加藤清正公が慶長11年(1606)に寄進された大堂は間口が25間あります。今の堂は15間なので倍近くです。この大堂に安置されているのが、聖人七回忌の際に造られた生身・孝道示現の御尊像と呼ばれる祖師像です。」

「御像が持つ子には聖人の御母堂の髪が使われています。聖人は生涯母の恩に感謝しておられました。この御像はそうした聖人の孝の道を、参詣者に

驚きますが、かつてはさらに壯麗だったといいます。案内してくださいた執事の梅本明宏さんは、こう説明してくれました。

池上本門寺を訪れるると講堂の立派さに驚きますが、かつてはさらに壮麗だったといいます。案内してくださいた執事の梅本明宏さんは、こう説明してくれました。

「加藤清正公が慶長11年(1606)に寄進された大堂は間口が25間あります。今の堂は15間なので倍近くです。この大堂に安置されているのが、聖人七回忌の際に造られた生身・孝道示現の御尊像と呼ばれる祖師像です。」

「御像が持つ子には聖人の御母堂の髪が使われています。聖人は生涯母の恩に感謝しておられました。この御像はそうした聖人の孝の道を、参詣者に